

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合柔道整復学4							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	3年	4期	住吉 泰之		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
<p>柔道整復術の対象となる胸腹部損傷の臓器における疾患を把握して、鑑別できるよう症状を確認する。 柔道整復術に留意すべき血管神経損傷の類似疾患を把握して、鑑別できるよう症状を確認する。</p>							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		柔道整復師が取り扱う損傷や障害を多様な視点から捉えられる為に ①各種疾患の症状を理解することで外傷と疾患の鑑別ができるようになる。 ②臨床において各種疾患をもつ患者に対し理解を示すことができる。 ③疾患の理解により、医接連携能力を高めることができる。 以上の知識を獲得する。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		1. 胸部損傷と呼吸器疾患の症状を鑑別するため、選択肢から正しいものを選ぶことができる。 2. 胸部損傷と心臓疾患の症状を鑑別するため、選択肢から正しいものを選ぶことができる。 3. 胸部損傷と上部消化管疾患の症状を鑑別するため、選択肢から正しいものを選ぶことができる。 4. 胸部損傷と下部消化管疾患の症状を鑑別するため、選択肢から正しいものを選ぶことができる。 5. 腹部損傷と肝胆膵疾患の症状を鑑別するため、選択肢から正しいものを選ぶことができる。 6. 神経損傷と中枢神経疾患を鑑別するため、選択肢から正しいものを選ぶことができる。 7. 神経損傷と末梢神経疾患を鑑別するため、選択肢から正しいものを選ぶことができる。 8. 神経損傷と神経障害を伴う疾患を鑑別するため、選択肢から正しいものを選ぶことができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
疾病と傷害 基礎柔道整復学 柔道整復学							
教科書・参考書							
柔道整復学・理論編 第6版 解剖学・生理学・一般臨床医学							
受講上の注意							
外傷の復習とともに、類似疾患に集中して学習し将来の患者像へ対応する心掛けをもつこと。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	胸部損傷と鑑別疾患1 【胸郭損傷】と【呼吸器疾患】の症状の理解			柔整193-209p 一臨99-129p	柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
第2回	胸部損傷と鑑別疾患2 【胸郭損傷】と【心臓疾患】の症状の理解			柔整193-209p 一臨115-129p	柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
第3回	胸部損傷と鑑別疾患3 【胸部損傷】と【上部消化管疾患】の症状の理解			柔整193-209p 一臨132-137p	柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
第4回	腹部損傷と鑑別疾患1 【腹部損傷】と【下部消化管疾患】の症状の理解			柔整210-219p 一臨138-141p	柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
第5回	腹部損傷と鑑別疾患2 【腹部損傷】と【肝胆膵疾患】の症状の理解			柔整210-219p 一臨142-156p	柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
第6回	神経損傷と鑑別疾患1 【神経損傷】と【中枢神経疾患】の症状の理解			柔整80-84p 一臨220-233p	柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
第7回	神経損傷と鑑別疾患2 【神経損傷】と【末梢神経疾患】の症状の理解			柔整80-84p 一臨234-136p	柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
第8回	神経損傷と鑑別疾患3 【神経損傷】と【神経障害を伴う疾患】の症状の理解			柔整80-84p 一臨66-75p	柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
第9回	試験				筆記用具		
第10回	試験解説				柔道整復学理論編 一般臨床医学 筆記道具		
実務経験と本講義との関連について							
本校卒業した柔道整復師・接骨院勤務歴12年。 柔道整復師として施術現場とかかわる柔道整復理論を講義します。 また、本校のOBとして、特に重視するべき点をお伝えいたします。							
メールアドレス							
sumiyoshi@nihonisen.ac.jp							